ソロモン海戦に就て 西域学

定所門ござんなれとばかり 断壁隊および絶差艦隊で腰びか入り、まこの報告によって 川助したわが戦略機能 た選挙せんと舞び上つた破職職機能と猛烈なる空中職を展開、

噂響をして関策返棋さしめてゐるが、海軍報道部職長平出大佐は十日午後七時半より『ソロモン 潅漑について」と跳して五分間AKのマイクを通じて本港酸の豪養金閣朋、無敵港軍の旗々たる

【東京電話】ソロモン海賊の大阪果は全世界を職目せしめわが海軍の無難ぶりは敗職に聯ぐ敵閥

目下なほ作戦職行中であるとは九日大本衛で張表せられた通り **観察に対し活撃を加へ敵艦隊ならびに輸送船機に大なる荘野を現**常圏港駅部隊が七日に深ソロモン繋懸万面に出現した脳米英の**職**

込ましてゐるものと思はれるのであって、

たのである。したがつて反撃の規模も大きか

相摩する肉薄酸を致行、感の主なる膨胀を懸きしめ触除の質つ只中に躍込み舷々暗夜長驅突進して楽を恃む

が終って一郎うく間もなくわが水上艦艇が敵艦隊に渡立、夜に入るがまどふ路艦艇など、に大行戦を激つたのである、震撃機能の攻撃

プロモン群島方面 に出現し來つ

・ 南海原政府 版跡に参 後より奇難変戦レてこれを確認し、欠いでパクリ附近の敵戦進攻略 加口附近を担せる修築なる敵に影し敗戦なる敵前移河ののも戦を歌

長戦闘の中で毅然とし部隊團結の精華を發揮して敵殲滅の偉功を大包圍殲滅戰に常に優勢な敵に立向ひ死傷者續出凄烈を極める白大包圍殲滅戰に常に優勢な敵に立向ひ死傷者續出凄烈を極める白大包圍殲滅戰に常立る有難き光榮である、大柿部隊は岩畔追撃隊の戦闘部隊としてシンバンゼーラム附近の撃滅戰に、またバクリの戦闘部隊としてシンバンゼーラム附近の撃滅戰に、またバクリの戦闘部隊としてシンバンゼーラム附近の撃滅戦に、またバクリの戦闘部隊としてシンバンゼーラム附近の撃滅戦に、またバクリの戦闘部隊として偉功を稱へられる大柿部隊、水【東京電話】、「一攻略戦の精華として偉功を稱へられる大柿部隊、水【東京電話】、「一攻略戦の精華として偉功を稱へられる大柿部隊、水

海軍の大戦果 監、巡笛艦をはじめ、

血迷ふ英國

取度の影響ガンデー郷が、

たのである。六十五年前、

九百隻、鐵機嚴監殿二千六百 一生のので、米英の正確を実

依る英田合體である。利害者

野口剛一畷車隊長は津市大学 野口剛一戦車隊長

說社

英國が国民の影略を本格化 人類史上の大陰である。世界の一人類史上の大陰であるやうに 持てる印度に年々数十

草耳

各部隊長略歷

たとする人間としての本能的 退決避は、この大概から脱れ 退決避は、この大概から脱れ 一橋である。血迷づた

國である。取度取熟よ起て

シンパンゼーラム附近

野町隊に亘なる光楽

大本営發表(十日午後三時三十分)アリ

ヤン 方面アリユーシ

住動燦 たり 島田野口戦車隊 び

リムに大戦果をあげたが、なかにも渡邊尖兵長の如きは雨と降火を 冒し地雷地帶を突破、敢然敵陣地に深く突入しトロラクに

の勇猛な戦闘ぶりは全く鬼神をも避けしめるものがある

出て橋梁の爆破装置を除去するなど

今般投くも上聞に達せられたりに山下マレー方面最高指揮官より蔵状を授與せられしが、に山下マレー方面最高指揮官より蔵状を授與せられしが、特別である大柿部隊ならびに島田、野口兩戦車隊に對しさき

加するや、一月十五日岩純津源域の戦闘部隊として敵を設証レムアー にめたりては海域路方面より迂回して十九日末前数主力の源路を歌 する遊儺を受け、駅隊長以下総幣の進半を失ひ死機郡出、駅辺湾場駅し、これを除後より帯魔するや戦車を再ふ優勢なる敵の四郎より

さきにアメリカ

餘りに大き過ぎた。こと人思はれるが、

敵のディ宣傳、つひに不可能

数によって完全に別称されついで大島島方面に到して団魔を試みん

れによっても如何に彼らが今回の出事に期待をかけてゐたかが認る た大攻勢である』と豪語してゐるのであるが、こきも今回の出撃と『アメリカがはじめてとつ

があることを重ねて證明したものである、これは固よりのこと、わが戦闘術力に格段の差性は固よりのこと、わが戦闘術力に格段の差に激彩評解を爽へをごとは 敵の虚を衝く兵衛の卓越

いて牽制せんと企圖し一部有力部隊をもつて

嚴たる事實のうちから異ばねばならぬ、

(新京十日同盟) 赴田の後去る七駐日勃公使挨拶

れた戦巣のみでも、ハワイ

街を確保

際者に駱騰を加へて、これを選とだらう▲英閣は果然取度の指 かざして起 ち上つた ▲ガンデや取皮は殲立の炬火を進々しく 捕したが▲ガンデーがその直面 度民衆に與へた『死の指令』



數倍の敵と交戰

の任務を完了したのでおい、陣地を死守してそ

鰹路よけパクリに配ひ攻撃を開始

を遂げ、これがため重要隊長 長また敵の迫撃砲弾を一般な最つたのであるを遂げ、これがため重要隊長 長また敵の迫撃砲弾を乗りたの場が戦死との民が関わた。横四方から攻撃し来り、重が隊(戦なれたバクリ地路の経歩観と蜀中頭部に教養の小銃弾)した。横四方から攻撃し来り、重が隊(戦なれたバクリ地路の経歩観と明明と指揮)をうけ遂に出列な戦が、ニャングルにをうけ遂に出列な戦が、ニャングルにをうけ遂に出列な戦が、ニャングルにといると称は戦略を乗り駆逐、高田の衛を済成しての長拳車艦の中頭部に乗りが後、ニャングルに

ムの殱滅戦

體 兩戦車隊の偉勳

展開した、繁音正年、物は、新きよび愛愛の物能とより晒地 により遂に算を亂して、火中尉が代つて指揮を を急いに明またば黙で到る 輝をとつたが、さすが、水中尉が代つて指揮を を急感し近明またば黙で到り来 揮をとつたが、さすが「不死傷績出したので富 が、年冬三時、例はますく長力 らに妹尾隊長代つて指下死傷績出したので富 が、年冬三時、例はますく長力 らに妹尾隊長代つて指

潰走した。一方山脈は午

| 二時間||半、||優勢なるる敵||後四時半乗総地を出義、ゴム林と||曜地を占統した。重象除が疾戦を「効するや、時を移るず脂田除第一大。戦や、展開、、激戦に質に、||線を運転すべき命をうけ同日午 けヴャングルを寒峻・不道に進出 | 東方遠暦で殺戦中の疑黙に成と、との時わが万も後継部隊総署 | リ西方地暦で戦を攻戦中、大概部 | に達した、先娘の頂及隊を不道に進出 | 東方遠暦で殺戦や疾患・との時わが万も後継部隊総署 | リ西方地暦で戦を攻戦中、大概部 | と達した、先娘の頂及隊を承継で、東方遠暦で殺戦中の安藤部隊に退た。 との時わが万も後継部隊総署 | リ西方地暦で戦を攻戦中、大概部 | と達した、先娘の頂及隊を承継で連ば | 東方遠暦で突戦中の安藤部隊に退た。 との時わが万名を構造と戦いる。

敵の北方反撃も空

バクリ附近の大殱滅戦

おいて 長じて後離部職を強力機関等を表現とした。 最の磁、より成る道路上の移動 時三十分トロラクを選りた。した (福楽工個所を導入素切を関わるようで、選近とで、選がは、1の移動 時三十分トロラクを選りた。した (福楽工個所を導入素切に) はあくまで、進路を阻ん。 あるためなほ類が多らて変略し 勝により なります (北野 は 上の移動 時三十分トロラクを選りた。した (福楽工個所を導入素切に) 大兵長は前方に、「農の産」との表別など、の影響と加えるを教験することと度が、部職、関方に最を担合した。 (東方とうて変略し) 勝により (東方との東部の本行動により、大兵長は前方に、「大兵長は前方に、「大兵長の護 切所ならが、衛生、大兵長は前方に、「大兵長は前方」に「爆破式」「神子びその東方地跡において、大兵長は前方」に「爆破式」「神子びその東方地跡において、大兵長は前方」に「爆破式」「神子びその東方地跡において、大兵長は前方」に「爆破式」「神子びその東方地跡においては、前の橋梁を登見、敞中 敵他兵主力を急襲、他 (本他火を) 間み 守自ら車 一 中牧田 (本年) 中教他兵主力を急襲、他 (本年) 中教他兵主が、 (本年) 中教・一本は、 (本年) 中本は、 (本年) 中教・一本は、 (本年) 中本は、 (本年) 中

遺棄してベクリ方面に であつた、シンペンゼーラ拳銃、彈藥など多數を 内の兵營を占領したの他、自働小銃、小銃、 分ののち敵を撃退、市・自動車百數十輛、迫撃 激戰が展開したが三十

ーシャン列島方面帝國海軍部 隊は八月八日同

標語格ぎなし無敵海軍 かくて米園は経戦以来の大敗北を 近の己むなきに至つたのである、 震震感以來の多大の日曜を受けた 元成 ねかつ 南においては真珠 に末つひに無課なる鑑動を敢てし てデマにデマを重ね

窓およびその中間地域を確保しめ

一部で抵抗、歩兵の前職は高の艦く パー北方においてはなほも敵は職

卅分閣梨確保に成功、一方諸田縣り獨弘挑除するなどして同十一時

に退及中の野口除主力はスリ

すでにしばく「脳線した歌節な行

はほかもつかず

単は日曜まで隊長車を示りつ人間 は佐藤隊長以下四名は 出烈な戦死を遂げ

響

概

大きな人間である。 大きな人間である。 大きな人間である。 大きな人間である。 大きな人間である。 大きな人のである。 大きなんのでなんのである。 大きなんのである。 大きなんのでなんのである。 大きなんのである。 大きなんのである。 大きなんのである。 大きなんのである。 大きなんのである。 大きなんのである。 大きなんのである。 大

地蹂躪を敢行した空前のて突進、徹底的に敵な隘路を戦車獨立をも ありスリム

か▲もとより継続の限りさない 附近の歌劇はいはゆるが、もう二つ呼び足りぬものを スリムの 殱滅戦と得さ 敷するのは黄にこの無郷北部 れマレー作版の聞くしてしるである

全年之一大人

一衆警官隊と衝突! 隨所に流血の
 慘惹起

別に陷り数十名の死傷者を出したが、 民機の関係もの極に造し目下なら民際対解電腦の理解が履行されてある、なーメダバツドにおいては単生を中心とする民衆抗験刑動が決論されるれた戦會させんとした武閣警監察と頻繁、學生の投行、 政武の部階版行に貨函せる つく示威運動を致行、そのした、既らボンペイにおいては金属で

英、天人俱に許さぬ非道 催涙瓦斯使用・鎭壓に狂奔

在馬來印度人も蹶起す

ス委員長決然語る

闘争はこれからだ。

東上の途次に 南鮮地方視察

英の彈壓强硬

建戰課業

展々

大

東國品二八七(十〇四

絶好ノ投資期國策重點株式

木造瓦台平家作本家 沙神 木造瓦台平家作奉家 沙神 木造瓦中

拉到旅四番柜

近期四六番川ノ東五七畳

が高州より左の虹く研設された が高州より左の虹く研設された ので二十日

商銀異動(六日附)

(行一支店)松井

大日本尺八報國

南、欧南南道の阜雪地群視響

田中總監 十五日出發

1十九民战第六六五城

京城府帝衆町七城治地ノ七、京城府帝衆町七城治帝衆町七城治地ノ七、昭和十七民教第六五七號 省平家建本家 意柳

長に変数関係金、山自治山は

器を開始を設定を作五回也のでは、一人のでは、 2000年) 2000年 2000年

及登記公告

学校の場合を表現しています。 19 日本の 任文武機勝大平塊将幸町武勢
主總會/決議=因リ昭和拾七
市總會/決議=因リ昭和拾七
西畔緒線株式會計解放之一月昭和拾七

一面店は閉鎖され、ハルーにおいては同日は全印度人

を喜ぶものである 卸・小賣共に

比較左の姫し

○ 企業部調査 = (昭和八年末準) 六月中全鮮物價

圓綜合決濟。確立

適切・堂々の施策

大東亞金融圈設定層繼續

檢擧すでに三百名

三〇年以來空前の大彈壓が實現されつゝある「における國民會議派指導者にして檢專されたものはすでに三百名を突破するといはれ一九「における國民會議派指導者にして檢專されたものはすでに三百名を突破するといはれ一九 一、三%、脈形成の一、〇%等に一、三%、馬影響の一、四%、半欧の一、四%、半欧の

西貢の卷



去る七月十四日のフランス大

商品は全部日本製

的であつた。サイゴンの保証 スチナ通りのフランス-

安、華、田等各人種が一つの

親切になつた佛人川

日本品の氾濫

尚議共同調査會

愈よ設置に本決り

金融統制會の事業

文獻進盛

十三日關係者の打合せ









以外·家亦本家 要体 遊院后根平安郎物質宣傳

財政関係金八百七指五関也の成化町五八番地ノ民会が成化町五八番地ノ民会が成化町五八番地ノ民会

操行范畴后报子家庭本家 **李梯** 林·西达斯二家庭本家 李梯

十七民執第六八七號 上拾九件

行孫町三丁目得鼠〇番地 七民執軍大九一號

交換船歓迎の昭南港

感激

街も職場も店頭も

四百萬同態に呼びかけることにし四百萬同態で呼びかけることにしいまし、二手を乗り切らうではないかと、二手

日本代表團京

特殊潜航艇

特殊油浸透芯書きよいのは

附五ケ國語学

大南方条内閣で東京 ・カかり ・大帝者が、東方の地へ ・大帝者が、東方の地へ ・大帝者が、東方の地へ ・大帝者が、東方の地へ ・大帝者が、東方の地へ

か出來ない解典で行以上のところは

千島園 水廠塔三日

東亞體育大會

百米自由型 10字

日滿武道大會

留つて ゐたかつた、 たとひ 日米 盛の融意を表したい、自分の個

日本勸業證券原支店

債券

・ 味はないよ ・ 味はないよ ア國領事語る

研究會編 復三国 デ・ス 美本





部品第スルア・京東







愛見 **國光物産商會油脂部**

液 用 でに店貨百うごそ同期) 中實發

用

残留邦人の上を思へば感無量

野村大使心境を語る

の際は自動車の中へも一人乗込金

製所鋼製戸神

ドーピスイハ

生養には一斤 百,"圓

確實に買入れる

御注文をフ 富

速記 通 開西速記學會 整理學學學 會





京城に來て、朝鮮の職りを彼め | くして舞ふ、これは悲しみを表す

島善太郎 鮮

聯とは関を出して而を明るくして 舞ふことで、これは選びを表はす。

魅 力

朝

明治館の機へをのぞいてみる

・十日午前十時、開戦前のひ

修養訓話城里書では緊察

嬉しや「豪雨給與」 農民達に天惠の肥料 八時から同署に修養期朝鮮の 官の衝操をたかめるため十日

のる尾側客三郎さん(愛知線)た西震島に二町歩の耕地を発

か聞められてゐる、國民総力官

豫想外の

けふから愈よ體力檢查

朗か増産風景

節水、貯蓄、體操へ

い市民の心得三つ

署長さんも喜ぶ

んで佐々木野長は次のやうに歌

| 200 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100

ーを切ってお客さ

パテリとシャ

ますり、親し

の愛機を撫でる、利用更生 言葉がその際真機ににじ

| 変機に無脳をあげる街路







もあることはわかるが、一概に片

映書ニュース

大切に《運動 駆駁の弧火ブイルムを 対形、武

續連不



東亞寫眞

国線にしを置れず、

一に太さを思ひ、直顧を破に浮かべ

さうは彩へられず、



正直が 大切が構へ

皇軍へ赤誠譜

哀れ安田君経命



辯護士に合格

胃腸の強化は古便排除にあり

ゴーソを磨むとこ、三中間や窓にない限身の古更を挑響しこれが影響ってすると源仏は皮くなり、骨骼が自に彫まて彫枝に削る。

語のツノ式









愛の赤道 表面の秘密(小) [181] 都竹伸一(繪)

疾にコノファミ

H

毛髪の若返り

白毛・赤毛・拔毛・禿頭に

を旺盛ならしむ。

日 20.0. 皮下注射す

研

世はお手製時代

が開発的もてに転配品を原配して用込むがよい。 質観無勢を無忧進點されるから、東京・戦田へ中

飽迄現實論に立脚 戦時海運管理令の鮮内施行

學》《二誌介質

秋の婦人子供更生服

人激勵

肺病の家庭療法。

「健康赤支炎」を経済を変換がある。

「はまった。」

「

またその意 と歴史的印度 と歴史的印度

金路大山中 社会式作 京東 阪

た の 録 音

愛用 即 聖荷末川信一先生 外土民軍主張報

ヒタヘモゲン

しき歌っの歌が海の布

んのが選のつ

然二旦**新速**排 念するとだ。

民衆な選捕職

最後に來るもの あるて書 ₩ 80 房書學三步與關聯

體立 徑

吹鞭か陽 出軽ぶや 物箱れけ

化顕や外 征 け 下網と傷

難鼻浮弾 そりか 後ぜ突虫

美素簡 戦時下なればこそ奪し

婦人の簡素美は といいしるで

年業に鬱悶病ビタへモ」が強液、肝臓、肺臓ン研

















獨立

三。巴巴

目ら選ぶ棘の道

こ苦勞と遞信從業員を搞ふ

第二次交換船

て、目標は只一つヶお國の……お互ひに私利、私感を

加導者錬成會終る





と質査科其の財産の材料



矢野橋村(給)吉川英治(作)

| 株 | 仕手自重

木蘭從軍 在酒田親都不出 十一日限り 12日 表 杉 在兒

生徒募集

郭爾爾爾朝鮮工業技

術

二六九 院

> 宗宝 認 9 藤田 進 高杉妙子 高杉妙子 あなたの瞬に 演出 七色の虹を綴る 夕起子の花嫁姿 乙女心の憧憬と感傷 渡邊邦男 提供 切封日 PWX.





新花典 南北海 東土別子 で、東土ごろ 6女 · 6房

九 優別 (水産製外、後) 立脈にてゐる鰊人達の「粽する小殿総徴」選の棟苦しに態隆で甲「祭した【寫眞=諷

接後

場會

カルシウム剤ピオカリフ52

結核性疾患に一、特に虚弱見の養證に一、経済期の見量に一、経済期の見量に一、投資物、乳幼児に

文

うたがりあも手ひ買も手

公商領部(2)五一六一

物部